

冬休みを迎えるにあたって

校長 矢 野 毅 吉

今まで経験したことのない長い2学期でしたが、生徒の皆さんは日々の授業、行事、部活動…など、本当によく頑張ったと思います。ご苦労様でした。

さて、夏休みは9日しかありませんでしたが、冬休みは平時と同じ期間あります。年末年始という、我が国にとって大きな国民的行事、慣習があるため、日程に触れることができないというのが実情だと思います。それぐらいこの年末年始（クリスマス・大掃除・お正月…）というのは国民生活に根付き、大事にされている文化、伝統なのでしょうね。楽しみにしている人も多いと思います。

ただ、楽しんでもらっても構いませんが、冬休みはたった13日で、あっという間に終わってしまいますから、そのなかにも「やるべきことはやる」「節度は保つ」といったことは大切にしてもらわないと、3学期のスタートがしんどいものになってしまいます。

そのために、

（１）学習にはしっかり取り組む。

「解答欄を埋めることだけが目的」「一応、提出することが目的」になっている、つじつま合わせの課題提出にならないよう、楽しむ中にも生活にメリハリをつけて、学習時間をきちんと設けるようにしましょう。特に3年生は学習の習慣を途切れさせないようにしましょう。

（２）家の手伝いをしよう。

特に年末はどこも忙しいものです。「誰でもできることは自分がやる」ぐらいの気持ちで、家の手伝いをして周囲を助けましょう。

（３）離れて暮らす大切な人がいたら、挨拶をしておこう。

今年はコロナもあって帰省しないという人もいるかと思います。それなら年賀状、寒中お見舞い、電話、メールなどで挨拶をしておきましょう。自分のことを覚えてくれているということは、誰でも嬉しいものです。

ぜひ実行してみてくださいね。最後にもう1つだけ言わせてもらえば、安全に留意し、とにかく命だけは大切にしてください。そして始業式には元気な顔を見せてください。 それではよいお年を。